

第 53 回 京都色絵陶芸展

11 月 19 日～23 日、財団法人京都陶磁器協会の後援する「第 53 回色絵陶芸展」が、くるる五条坂にて開催されました。

会期中、くるる五条坂には色とりどりの彩色を施した陶磁器が並び、いつにも増して会場は華やかな雰囲気になりました。今年度は新たな取り組みとして、京菓子とのコラボレーションが会場で試みられ、京都府菓子工業組合、立命館大学茶道研究部の協力の下、お茶席が設けられました。ずらりと並んだ抹茶盃の中から好みの器を選んでお茶を頂けたり、お菓子もたくさんの中から好みのものを選べたり…



また、「季節の菓子」を「季節の絵皿」に盛り「菓子と器の織り成すコラボレーション」の人気コンテストもあり、観るだけでない、「参加する



展覧会に、来場者も通常とは違った楽しみ方をされていました。

ご来場の女性は、ご自身で選ばれた「竜田川」の茶盃でお茶を召し上っておられました。秋らしい器で、手に持った心地も良く、とても気持ちの良い時間を過ごせました。」との感想を話されていました。また、お点前をしていた立命館大学茶道研究部 4 回生の山中君は「茶笥の滑りがよく、使いやすいのに驚きました。」とのことで、



美しいだけでなく、心配りの行き届いた京焼に、お客様も、お茶席

を担当していた学生さんたちもご満足の様子でした。皆様に「京焼は見るだけではなく、日々の生活に使ってこそ、生きる」ということを、再認識いただいたように思えます。

財団法人京都陶磁器協会では、皆様のライフスタイルに合わせた「京焼」の在り方を提案し「京焼」の新しい魅力をお伝えしていきたいと考えています。

京都陶磁器会館くるる五条坂

〒605-0864 京都市東山区東大路五条上ル遊行前町 583-1

TEL,(075)541-1102 FAX, (075) 541-1195

休館日 水曜日、木曜日 午前 9 時 30 分開館・午後 5 時閉館

第53回 京都色絵陶芸展 入賞作品

賞	作品名	受賞者
京都府 知事賞	茶盃「紅葉の絵」	木全 翁楽
京都市 市長賞	茶盃「吉野山」	加藤 如水
京都商工会議所会頭賞	皿付蓋物「金銀彩薄文様」	八木 進也
京都新聞社賞	スープ碗皿セット「五色菱紋様」	寺田 嘉扇
京都陶磁器協会賞	酒器セット「青白磁色絵金銀彩花鳥」	田中 聖子
京都陶磁器協同組合連合会賞	飾り蓋付壺「七宝 花詰紋」	小野多美枝
京都陶磁器意匠保護協会賞	多用碗「独楽筋金小紋」	入江 裕起
京都陶磁器卸協同組合賞	皆具「瓔珞」	上山 善峰
京都色絵陶芸協同組合賞	高杯洋酒器「幾何学丸紋 扇面桜」	岩本 明子
奨励賞	中鉢「はつゆき」	廣田 友里
新人賞	香炉「風神雷神」	石戸あゆみ
スポンサー賞 たち吉賞	鉢「金銀菊」	八木 海峰
スポンサー賞 岡八賞	茶盃「瓔珞」	上山 善峰
スポンサー賞 朝日堂賞	茶盃「紅葉」	石戸あゆみ



京都府 知事賞



京都市 市長賞



京都商工会議所会頭賞



京都陶磁器協会賞

左記の作品は、京都陶磁器協会賞受賞の田中聖子さん作「酒器セット・青白磁色絵金銀彩花鳥」です。銀で描かれたツバメが、生き生きと飛び交う優雅な作品でした。

色絵陶芸展には5日間で1300名にも上る来館者があり、大変な賑わいの中で、みなさん美しい色柄の世界を楽しまれました。

「色絵の神髄とはなんですか？」という問いに、色絵組合員の方は「色の遊び、遊びの心やな…」とおっしゃっておりましたが、まさしく来館された一人一人が、作者の遊び心に自分の思いを重ねて楽しまれた様な気がします。

豊かな技と心を、次世代へつないでいきたい…。そんな思いもしっかり受け止めて頑張ってくれた立命館茶道研究部の皆さんです。

